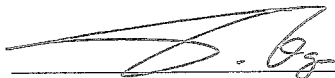


中華人民共和国
ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及びコントロールプロジェクト
独立行政法人国際協力機構と中国国家衛生部との
協議議事録

独立行政法人国際協力機構(以下、JICA)中華人民共和国事務所と、中国国家衛生部は、「ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及びコントロールプロジェクト」(以下、「プロジェクト」)について一連の協議を行った結果、討議議事録に署名した。この際、討議議事録に規定されたいくつかの特定事項を明確にし、当該計画の円滑な実施を図るため、付属文書のとおり日中双方の協議結果を確認した。

なお、本協議議事録は等しく正文である日本語、中国語を各2通作成した。

2006年12月12日 北京市



古賀 重成
日本国
独立行政法人国際協力機構
中華人民共和国事務所 所長



王 立基
中華人民共和国
衛生部
国際合作司 副司長

1. 長期専門家の配置

本プロジェクトは、対象地域が 5 省に跨る活動領域の広いものである。従って、中国疾病予防コントロールセンターに日本人チーフアドバイザー、実験室診断専門家、業務調整員が常駐すると共に、四川省疾病予防コントロールセンターに日本人疫学サーベイランス専門家が常駐し、円滑なプロジェクト活動の推進を図る。

なお、専門家の派遣期間については、派遣に際して日中双方により具体的に協議を行い決定する。派遣された専門家は、中国国内でプロジェクトを実施する間、中華人民共和国の関連する法律及び規制を遵守するとともに、中華人民共和国の法律に保護される。

2. 供与機材について

本プロジェクトでは、麻疹実験室機材、県及びそれ以下のレベルのコールドチェーン、その他プロジェクト実施に必要な機材を提供する予定であるが、具体的な供与機材の選定及びその数量は、プロジェクト開始後に対象地域の現状を調査したうえで決定する。

3. プロジェクトの設計について

日中双方は、2003 年 9 月及び 2005 年 9 月の WHO 西太平洋地域委員会決議 (WPR/RC54.R.3、WPR/RC56.R8) を勧告しつつ、プロジェクト開始後の運営管理に資することを目的として、プロジェクトが実施される背景や実施の意義と妥当性などプロジェクトの詳細を協議した。その結果、プロジェクト・デザイン・マトリックス (Project Design Matrix) を別添 3、活動計画 (Plan of Operation) を別添 4、実施体制を別添 5 のとおりとすることで合意した。その他背景等については、継続協議し、プロジェクト・ドキュメントとして合意、署名することとする。

4. 関係機関間の情報交換について

プロジェクト対象省合同会議及び日中感染症情報交流会議を開催する。当該情報交流会議は、ポリオ、麻疹、B 型肝炎、日本脳炎の 4 疾患の情報交流を目的とし、必要に応じて、日中協議の上、その他の重要な感染症を情報交流の対象とする。

なお、プロジェクト対象省合同会議には在中国日本国大使館及び WHO はオブザーバーとして出席できることとする。また、日中感染症情報交流会議には必要に応じて WHO その他の関係機関を招聘できることとする。

5. 日中の感染症協力

日中双方は、2006 年 8 月締結の「日本国国立感染症研究所と中国疾病予防コントロールセンター間の感染症協力に関する覚書」を踏まえ、日中協議の上、対応可能な範囲で感染症協力を更に推進することとする。

以上

- 別添 1. 協議参加者リスト
別添 2. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)
別添 3. 活動計画 (PO)
別添 4. プロジェクト実施体制

協議参加者リスト

1. 中国側

中国衛生部	疾病コントロール局免疫処	崔鋼	処長
		陸明	官員
	国際合作司アジア・アフリカ処	李彦兵	官員
中国疾病予防コントロールセンター	免疫計画センター	梁曉峰	主任
	免疫計画センター総合室	周玉清	主任

2. 日本側

JICA 中華人民共和国事務所	藤谷浩至	次長
	桑内美智子	所員
	劉然	所員
日本国駐華大使館	西川 隆久	一等書記官

プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)

プロジェクト名: 中国ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及びビロントロウイルスプロジェクト(注1)
 ターゲットグループ: 対象地域の各レベルのEPI関連部門及びその関係者、ワクチン接種活動従事者
 最終受益者: 対象地域の住民
 対象地域: 江西省、四川省、甘肅省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区(注2)

プロジェクトの要約 上位目標	指標	指標入手手段	外部条件
プロジェクトの実施による関連疾病のコントロールを通じて、対象省の子どもの健康が向上する	(注3) 1. (麻疹) 中国麻疹排除計画が目標とする指標(麻疹発症率の低減) 2. (B型肝炎) 2010年までに5歳児未満のB型肝炎ウイルス表面抗原陽性率1%未満 3. (ポリオ) ポリオフリーの維持 4. (日本脳炎) アウトブレイクが正確迅速に診断され、対策が迅速に行われる	中国衛生部、CCDC	
対象省におけるサーベイランスの水準と予防接種サービスの質が向上する	1. (ポリオ) 対象省農村部における児童の予防接種が調査接種率90%以上を達成・維持する。 2. (麻疹) 対象省における児童の予防接種が調査接種率95%以上を達成・維持する。 3. (B型肝炎) ①対象省における新生児B型肝炎ウイルスの調査接種率凡そ90%を達成・維持する。②対象省における施設分娩の生後24時間以内ワクチン初回接種率90%以上を達成・維持する。 4. (日本脳炎) 対象省の省CDCにおいて実験室診断の技術知識が向上する。	中国衛生部、CCDC	* 中国の予防接種事業に関連する政策が大幅に変更されない
アウトブレイク 1. ファイールドサーベイランス(定期的モニタリング、監督指導、報告システム等)が強化される 2. ポリオ実験室ネットワーク、麻疹実験室のIgM診断機能、日本脳炎実験室が強化される 3. EPIに関する国内外の関係機関の連携・協調体制が確立される 4. 予防接種サービスが改善される 5. 予防接種に関する教育、啓発活動が強化される	1-1. 対象疾患別の各種トレーニングの理解の向上 1-2. トレーニング参加者総数の増加 1-3. ファイールドサーベイランスの実施回数増加(注4) 2-1. 対象疾患別の各種トレーニングの理解の向上 2-2. トレーニング参加者総数の増加 2-3. WHOポリオ実験室指標の達成 3-1. 会議の開催回数増加と内容 3-2. 予防接種対象人口の実態把握に係る国内関係機関間の情報の共有化 4-1. EPIの実施状況(「予防接種業務規範」に規定されている項目の達成をモニタリング) 4-2. 安全注射実施率(一人一针一管接種率%)の向上 4-3. ワクチン管理モニタリング(「予防接種業務規範」に規定されている項目の達成) 5-1. 住民のEPIの理解の向上(KAPサーベイ) 5-2. 住民への教育・啓発活動の実績	プロジェクトの記録 省CDC プロジェクトの記録 プロジェクトの記録 省CDC 省CDC プロジェクトの記録 省CDC(「模底調査」) 県CDC 県CDC 県CDC プロジェクトの記録 プロジェクトの記録	* 対象省におけるワクチン予防可能感染症に関する政策が大幅に変更されない

注1: 「ワクチン予防可能感染症」とは、ここでは、ポリオ、麻疹、B型肝炎、日本脳炎を指す。
 注2: AFPサーベイランスの対象地域はポリオハイリスク省、ポリオ実験室ネットワークについては国レベルを通じて体制の構築を示す。また、日本脳炎の対象地域は、対象5省のうち当該疾患の流行省とする
 注3: 上位目標の指標は中国の予防接種政策に準じ、中国側関係機関と協議の上見直すこととする
 注4: プロジェクトの特別な規程以外は、原則的に中国衛生部の作成した予防接種業務規範に準ずる

活動		日本側	中国側	外部条件
1.	<p>ファイロドサーベイランス(定期的モニタリング、監督指導、報告システム等)が強化される</p> <p>1-1. (ポリオ)AFPサーベイランスに関するトレーニングを実施する</p> <p>1-2. (ポリオ)AFPサーベイランスを改善する</p> <p>1-3. (麻疹)サーベイランスに必要な疫学および臨床診断に係るトレーニングを実施する</p> <p>1-4. (麻疹)ファイロドサーベイランスを改善する</p> <p>1-5. (ポリオ、麻疹)予防接種キャンペーン(SIAs)レビューに協力する</p> <p>1-6. (B肝)EPI活動に必要なトレーニングを実施する</p> <p>1-7. (B肝)モデル地域における肝炎鑑別、分類、報告システムを確立する</p>	<p>(1) 専門家</p> <p>(2) 研修員受け入れ</p> <p>(3) 機材</p> <p>(4) プロジェクト運営経費</p>	<p>(1)プロジェクト管理人員及び実施人員</p> <p>(2) 業務関連施設</p> <p>(3) プロジェクト運営経費</p>	<p>* 研修を受けた人員が定着する</p> <p>* 対象地域のEPIワーカーの供給が確保される</p> <p>* 予防接種対象人口の把握に関し、関連の行政機関の協力が得られる</p> <p>* 対象省の感染症対策への財政支援が確保される</p>
2.	<p>ポリオ実験室ネットワーク、麻疹実験室のIM診断機能、日本麻疹実験室が強化される</p> <p>2-1. (ポリオ)中央と省レベルの実験室実技トレーニングを実施する</p> <p>2-2. (ポリオ)JICA/WHO/衛生部のポリオ実験室レビューに参加する</p> <p>2-3. (麻疹)IM診断に係るトレーニングを実施する</p> <p>2-4. (麻疹)IM診断に係る実験室の精度管理を改善する</p> <p>2-5. (日本麻疹)日本麻疹の流行把握のための日本麻疹流行省の実験室診断を技術的に支援する</p>			
3.	<p>EPIに関する国内外の関係機関の連絡・協働体制が確立される</p> <p>3-1. プロジェクト対象省合同会議を年1回実施する(活動評価、情報交換、フィードバック)(注5)</p> <p>3-2. (ポリオ)全国ポリオ実験室会議に参加する(活動評価、情報交換、フィードバック)</p> <p>3-3. 日中感染症情報交流会議を実施する(注6)</p> <p>3-4. 正確な対象人口を把握するため、計画生管委員会、居民(村民)委員会等国内関係機関と連携する</p> <p>3-5. 予防接種サーベイスを改善するため、計画生管委員会、母子保健、居民(村民)委員会等国内関係機関と連携する</p> <p>3-6. 流動人口、辺境地域等の道庁児童に対するルーチン予防接種率向上のための対策を検討する</p>			
4.	<p>予防接種サーベイスが改善される</p> <p>4-1. (麻疹、B肝)安全注射のトレーニングを実施する</p> <p>4-2. (ポリオ、麻疹、B肝)ワクチン副反応モニタリングのトレーニングを実施する</p> <p>4-3. (ポリオ、麻疹、B肝)正しいEPI情報収集(ワクチンログ、ワクチン管理、接種率等)のためのトレーニングを実施する</p> <p>4-4. (ポリオ、麻疹、B肝)住民ポランディアに対するコミュニケーションの仕方、宣伝広報の方法に関するトレーニングを実施する</p> <p>4-5. (ポリオ、麻疹、B肝)予防接種サーベイスのモニタリング・評価、指導を実施する</p> <p>4-6. (ポリオ、麻疹、B肝)末端のコールトプーンを整備する</p> <p>4-7. (ポリオ、麻疹)予防接種キャンペーン実施上の支援を提供する</p> <p>4-8. (B肝)生後24時間以内初回接種を技術的に支援する</p>			
5.	<p>予防接種に関する教育、啓発活動が強化される</p> <p>5-1. 居民(村民)委員会のEPIの啓発活動に関する役割を明確にする</p> <p>5-2. 住民啓発活動用教材(VCD等)を作成する</p> <p>5-3. キーパーソンと連携する</p> <p>5-4. 住民ポランディアを対象としたトレーニングを実施する</p> <p>5-5. 婚姻登録時、人口登録時、学校入学時に予防接種の宣伝教育を実施する</p>			

注5:プロジェクト対象省合同会議には、在国日本大使館及びWHOはオブザーバーとして出席できる。
 注6:感染症とは本プロジェクトの4疾患を指す。尚、その他の疾患も対象とする場合はあらかじめ日中双方で協議の上決定する。
 また、日中感染症情報交流会議には、必要に応じて、日中双方で協議の上、WHOその他の関係機関を招聘できる。

実行計画 (Plan of Operation)

06	12	2007												2008												2009												2010												2011											
		I				II				III				IV				I				II				III				IV				I				II				III				IV															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
1. フィールドサーベイランス(定期的モニタリング、監督指導、報告システム等)が強化される																																																													
1-1. (ポリオ)AFPサーベイランスに関するトレーニングを実施する																																																													
1-2. (ポリオ)AFPサーベイランスを改善する																																																													
1-3. (麻疹)サーベイランスに必要な感染および臨床診断に係るトレーニングを実施する																																																													
1-4. (麻疹)フィールドサーベイランスを改善する																																																													
1-5. (ポリオ、麻疹)予防接種キャンペーン(SIAs)レビユーに協力する																																																													
1-6. (B肝)EPI活動に必要なトレーニングを実施する																																																													
1-7. (B肝)モデル地域における肝炎鑑別、分類、報告システムを確立する																																																													
2. ポリオ実験室ネットワーク、麻疹実験室のIeM診断機能、日本脳炎実験室が強化される																																																													
2-1. (ポリオ)中央と省レベルの実験室実技トレーニングを実施する																																																													
2-2. (ポリオ)JICA/WHO/衛生部のポリオ実験室レビユーに参加する																																																													
2-3. (麻疹)IeM診断に係るトレーニングを実施する																																																													
2-4. (麻疹)IeM診断に係る実験室の精度管理を改善する																																																													
2-5. (日本脳炎)日本脳炎の流行把握のための日本脳炎流行省の実験室診断を技術的に支援する																																																													
3. EPIに関する国内外の関係機関の連携・協働体制が確立される																																																													
3-1. プロジェクト対象省合同会議を年1回実施する(活動評価、情報交換、フィードバック)(注5)																																																													
3-2. (ポリオ)全国ポリオ実験室会議に参加する(活動評価、情報交換、フィードバック)																																																													
3-3. 日中感染症情報交流会議を実施する(注6)																																																													
3-4. 正確な対人口を把握するため、計画生育委員会、母子保健、居民(村民)委員会等国内関係機関と連携する																																																													
3-5. 予防接種サービスを改善するため、計画生育委員会、母子保健、居民(村民)委員会等国内関係機関と連携する																																																													
3-6. 流動人口、辺境地域等の適齢児童に対するルーチン予防接種率向上のための対策を検討する																																																													

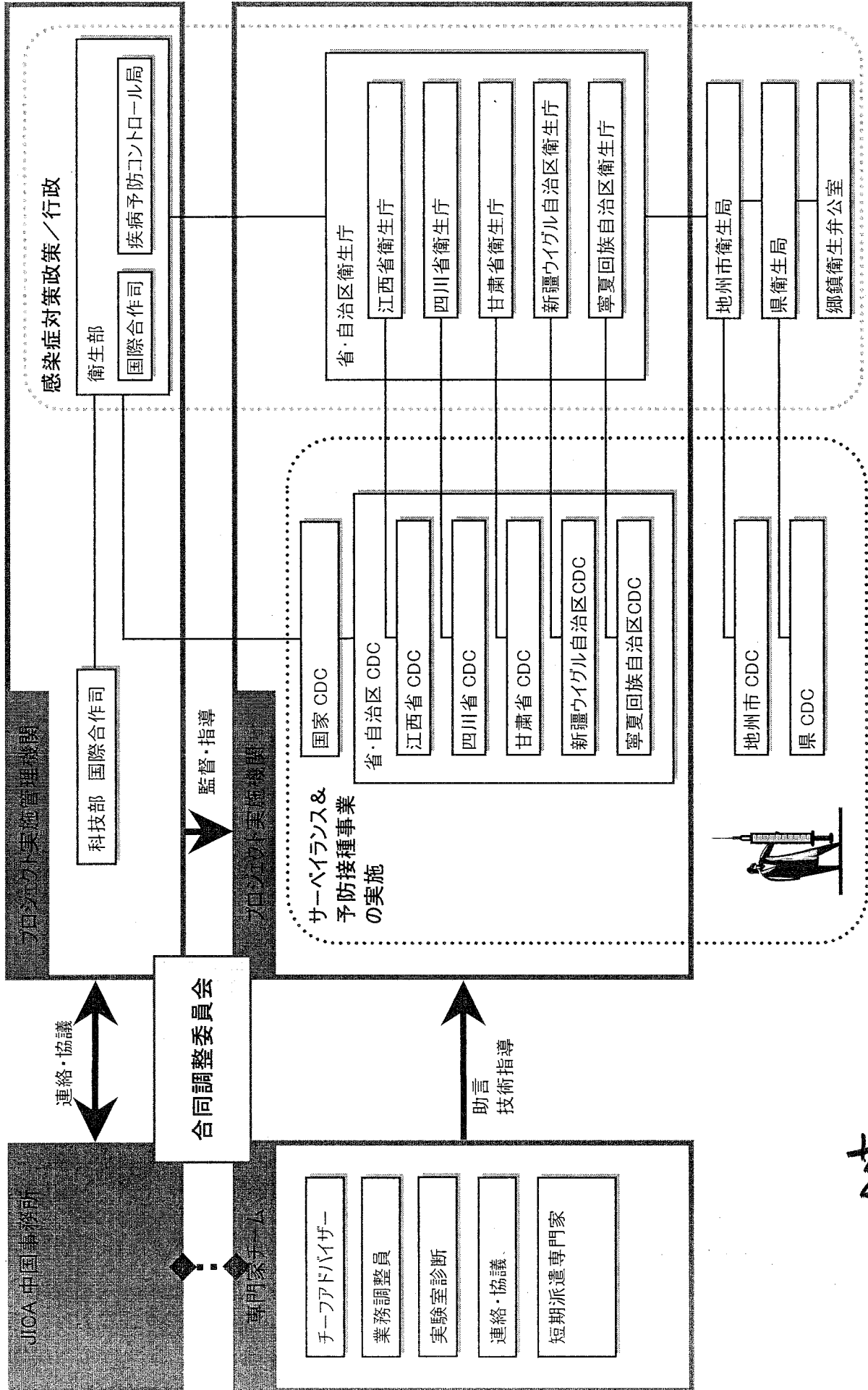
Handwritten mark (signature or initials)

活動	2007				2008				2009				2010				2011			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
4. 予防接種キャンペーンが改善される																				
4-1. (麻疹、B型肝炎)安全注射のトレーニングを実施する																				
4-2. (ポリオ、麻疹、B型肝炎)副反応モニタリングのトレーニングを実施する																				
4-3. (ポリオ、麻疹、B型肝炎)正しなEPI情報収集(ワクチンロギ、ワクチン管理、接種率等)のためのトレーニングを実施する																				
4-4. (ポリオ、麻疹、B型肝炎)住民ボランティアに対するコミュニティアクションの仕方、宣伝広報の方法に関するトレーニングを実施する																				
4-5. (ポリオ、麻疹、B型肝炎)予防接種サービスのモニタリング・評価、指導を実施する																				
4-6. (ポリオ、麻疹、B型肝炎)末端のコールセンターを整備する																				
4-7. (ポリオ、麻疹)予防接種キャンペーン実施上の支援を提供する																				
4-8. (B型肝炎)生後24時間以内初回接種を技術的に支援する																				
5. 予防接種に関する知識、態度活動が強化される																				
5-1. 居民(村民)委員会のEPIの啓発活動に関する役割を明確にする																				
5-2. 住民啓発活動用教材(VCD等)を作成する																				
5-3. キーパーソンと連携する																				
5-4. 住民ボランティアを対象としたトレーニングを実施する																				
5-5. 婚姻登録時、人口登録時、学校入学時に予防接種の宣伝教育を実施する																				

中間評価

最終時評価

プロジェクト実施体制



Handwritten signature or mark.

中华人民共和国卫生部与日本国际协力机构
关于中华人民共和国疫苗可预防疾病监测与控制合作项目的
协议备忘录

中华人民共和国卫生部与日本国际协力机构（以下称“JICA”）中华人民共和国事务所，为疫苗可预防疾病监测与控制合作项目（以下称“项目”）的有效实施，进行了一系列的协商并签署了会谈纪要。明确了会谈纪要规定的几项特定事项，为顺利地实施该计划，如附属文件所示确认了中日双方的协商结果。

本会谈纪要用中文及日文写成，正本各一式两份。

2006年12月12日 北京市



王 立基
中华人民共和国
卫生部 国际合作司
副司长



古贺 重成
日本国际协力机构
中华人民共和国事务所
所长



1. 长期专家的配置

本项目是一个项目对象跨越 5 省的活动领域非常广阔的项目。因此，日本长期专家(首席顾问)、实验室诊断、业务协调员将常驻中国疾病预防控制中心，另外，长期专家(流行病学监测)也将常驻四川省疾病预防控制中心，以便推进项目活动的顺利开展。

关于专家的派遣期限，在派遣时，由中日双方具体商议决定。派遣的 JICA 项目专家在中国境内执行项目期间，应遵守中华人民共和国法律，并受中华人民共和国法律保护。

2. 提供器材

本项目提供麻疹实验室器材、基层(县及县级以下)的冷链设备、其他项目开展所必要的器材。关于具体提供器材的选定及数量，待项目开始实施后、对实施地区的现状进行调查后决定。

3. 项目设计

中日双方参考 2003 年 9 月及 2005 年 9 月的 WHO 西太平洋地区委员会决议(WPR/RC54.R.3、WPR/RC56.R8)，以促进项目实施后的管理运营为目的，就项目实施的背景、实施的意义及妥当性等项目的详细情况进行了协商。作为协商的结果，双方在项目设计图(Project Design Matrix)如附件 3、活动计划(Plan of Operation)如附件 4、实施体制如附件 5 所示内容达成一致意见。关于项目背景等，需继续协商，作为项目文献达成一致意见后双方签字。

4. 相关机构间的信息交流

召开项目对象省联合会议及中日传染病信息交流会。该信息交流会以脊灰、麻疹、乙肝、乙脑 4 种疾病的信息交流为目的，必要时在中日协议的基础上将其他重要的传染病作为信息交流的对象。

另外，日本驻华大使馆及 WHO 可以作为观察员出席项目对象省的联合会议。根据需要，中日传染病信息交流会可以邀请 WHO 等其他有关机构参加。

5. 中日传染病合作

中日双方参考 2006 年 8 月签署的《中华人民共和国疾病预防控制中心与日本国立感染症研究所传染病防治合作备忘录》，在可能的范围内，经双方磋商后，进一步推进中日间的传染病合作。

附件 1. 参与讨论人员名单

附件 2. 项目设计图(PDM)

附件 3. 活动计划(PO)

附件 4. 项目实施体制

参与讨论人员名单

1. 中方

中国卫生部 疾病预防控制局免疫处	崔钢	处长
	陆明	官员
国际合作司亚非处	李彦兵	官员
中国疾病预防控制中心免疫规划中心	梁晓峰	主任
免疫规划中心综合室	周玉清	主任

2. 日方

JICA 中华人民共和国事务所	藤谷浩至	副所长
	桑内美智子	所员
	刘然	所员
日本驻华大使馆	西川 隆久	一等秘书

项目概要表 (PDM草案)

项目名称: 中国疫苗可预防疾病监测与控制合作项目 (注1)
 直接受益者: 项目实施地区的各级相关单位和专业技术人员, 从事疫苗接种的工作人员
 最终受益者: 项目实施地区的居民
 项目实施地区: 江西省、四川省、甘肃省、宁夏回族自治区、新疆维吾尔自治区 (注2)

项目概要	指标	数据来源	外部条件
<p>通过项目实施, 预防控制相关疾病, 提高项目地区儿童健康水平</p>	<p>(注3) 1. 中国消除麻疹规划的目标指标 (麻疹发病率的降低) 2. 乙型肝炎 2010年5岁以下儿童的表面抗原携带率控制在1%以下 3. 脊髓灰质炎 维持无脊髓灰质炎状态 4. 乙型肝炎 (乙型肝炎) 的暴发性被正确的诊断出来, 控制对策迅速实施</p>	<p>中国卫生部, CDC</p>	
<p>提高项目省的疾病监测水平与预防接种服务质量</p>	<p>项目目标 1. (脊灰) 项目省农村地区儿童预防接种的覆盖率 (脊灰) 达到或维持90%以上。 2. 项目对象省儿童接种率的调查接种率达到或维持95%以上。 3. (乙型肝炎) ①项目省的新生儿乙型肝炎疫苗3剂次接种率的调查接种率基本达到或维持90%。②项目省的住院分娩新生儿24小时内的疫苗首针接种率达到或维持90%以上。 4. (乙型肝炎) 项目省CDC关于血清诊断技术的知识有所提高。</p>	<p>中国卫生部, CDC</p>	<p>* 中国政府的预防接种工作相关政策没有很大改变</p>
<p>成果 1. 加强现场监测 (定期监测、督导、报告体系等) 2. 加强脊髓灰质炎实验室网络, 麻疹实验室的IgM诊断功能和乙型脑炎实验室 3. 建立与EPI有关的国内外相关机构合作协调体制 4. 完善预防接种服务 5. 加强预防接种的宣传普及工作</p>	<p>1-1. 针对每种对象疾病开展的各种培训的理解度的提高 1-2. 培训参加总人数的增加 1-3. 现场监测的实施次数的增加 (注4) 2-1. 针对每种对象疾病开展的各种培训的理解度的提高 2-2. 培训参加总人数的增加 2-3. WHO脊灰实验室指标的完成 3-1. 会议召开次数的增加及内容 3-2. 关于掌握预防接种对象人口现状的国内有关单位间的信息共享 4-1. EPI的实施状况 (监测《预防接种工作规范》中规定的项目的完成情况) 4-2. 安全注射实施率 (一人一针一管接种点比率) 的提高 4-3. 疫苗管理监测 (《预防接种工作规范》中规定的项目的完成情况) 5-1. 提高居民对EPI的理解 (KAP调查) 5-2. 对居民进行健康教育活动的效果</p>	<p>项目的记录 省CDC 项目的记录 项目的记录 省CDC 省CDC 项目的记录 省CDC (摸底调查) 县CDC 县CDC 县CDC 项目的记录 项目的记录</p>	<p>* 项目在疫苗可预防疾病方面的政策没有很大改变</p>

注1: “疫苗可预防疾病” 此处是指脊髓灰质炎、麻疹、乙型肝炎和乙型脑炎。
 注2: AFI监测体系的实施对象地区为脊髓灰质炎高风险地区, 脊髓灰质炎实验室网络建设是通过中央机构构建。另外, 乙型肝炎的对象地区是指项目对象5省中该疾病的流行省份。
 注3: 总体目标的指标根据中国政府的预防接种政策, 在与中方有关部门协商的基础上重新修订。
 注4: 除项目的特殊规定外, 原则上依据中国卫生部制定的预防接种工作规范。

活动		投入		外部条件
		中方	中方	
1. 加强现场监测（定期监测、督导、报告体系等）	<p>1-1. (脊髓灰质炎) 培养AIP监测人员</p> <p>1-2. (脊髓灰质炎) 加强AIP监测</p> <p>1-3. (麻疹) 培养为监测需要的麻疹流行病学和临床诊断人员</p> <p>1-4. (麻疹) 改善现场监测</p> <p>1-5. (脊髓灰质炎、麻疹) 协助开展强化免疫活动 (SIAs) 的评估</p> <p>1-6. (乙肝) 培养为EPI活动需要的人员</p> <p>1-7. (乙肝) 建立在试点地区进行肝炎鉴别、分类和上报的体系</p>	<p>(1) 专家派遣</p> <p>(2) 实施赴日研修</p> <p>(3) 器材</p> <p>(4) 项目运营经费</p>	<p>* 接受过培训的人员不调查岗位</p> <p>* 确保项目地区EPI疫苗的供应</p> <p>* 在把握预防接种人口方面, 得到相关行政部门的协助</p> <p>* 项目首确保对疾病筛查进行财政支持</p>	
2. 加强脊髓灰质炎实验室网络, 麻疹实验室的IEM诊断功能和乙型肝炎实验室	<p>2-1. (脊髓灰质炎) 培养国家和省级实验室实操操作人员</p> <p>2-2. (脊髓灰质炎) 参与JICA/WHO/卫生部脊髓灰质炎实验室市工作</p> <p>2-3. (麻疹) 培养从事IEM诊断人员</p> <p>2-4. (麻疹) 加强IEM诊断实验室的质量能力</p> <p>2-5. (乙脑) 向以掌握乙型肝炎的流行为目的的乙型肝炎流行省的实验室提供诊断技术的支持</p>			
3. 建立与EPI有关的国内外相关机构合作协调体制	<p>3-1. 每年举办五次项目的联席会议 (活动审查, 信息交流, 意见反馈) (注5)</p> <p>3-2. (脊髓灰质炎) 参加全国脊髓灰质炎实验室会议 (活动审查, 信息交流, 意见反馈)</p> <p>3-3. 举办中日传染病信息交流会 (注6)</p> <p>3-4. 为了推进脊髓灰质炎接种人口, 与计生委, 如妇幼保健院, 居 (村) 委会等国内相关部门或单位协作</p> <p>3-5. 为了提高预防接种服务水平, 与计生委, 如妇幼保健院, 居 (村) 委会等国内相关部门或单位协作</p> <p>3-6. 推行提高常规免疫接种率对策 (针对流动人口, 边远地区等的适龄儿童)</p>			
4. 完善预防接种服务	<p>4-1. (麻疹、乙肝) 开展安全注射培训</p> <p>4-2. (脊髓灰质炎、麻疹、乙肝) 开展疫苗副反应监测培训</p> <p>4-3. (脊髓灰质炎、麻疹、乙肝) 开展以收集准确EPI信息为目的 (接种登记簿, 疫苗管理, 接种率等) 的培训</p> <p>4-4. (脊髓灰质炎、麻疹、乙肝) 对居民志愿者进行有关沟通方法, 宣传方法的培训</p> <p>4-5. (脊髓灰质炎、麻疹、乙肝) 预防接种服务的监测, 审查及指导</p> <p>4-6. (脊髓灰质炎、麻疹、乙肝) 完善冷链设备</p> <p>4-7. (脊髓灰质炎、麻疹) 在强化免疫活动时提供相关支持</p> <p>4-8. (乙肝) 为提高首针及时接种率提供技术支持</p>			
5. 加强预防接种的宣传普及工作	<p>5-1. 明确居 (村) 民委员会在预防接种宣教工作中的分工</p> <p>5-2. 制作宣传普及用多媒体材料 (VCD等)</p> <p>5-3. 与美视人物合作</p> <p>5-4. 对居民志愿者进行培训</p> <p>5-5. 在婚姻登记, 人口登记, 入学时开展预防接种的宣传教育</p>			
		前提条件		
				<p>* 确保EPI疫苗的供应</p> <p>* 中国坚持传染病防治对策</p>

注5: 日本驻华大使馆及WHO可以作为观察员出席项目对象省的联席会议。

注6: 所谓传染病是指本项目的4种疾病, 如霍乱及其他疾病, 如需要, 在中日双方另行协商决定, 中日双方另行协商决定, 中日传染病信息交流会可以邀请WHO等其他有关机构参加。

Plan of Operation

06	2007												2008												2009												2010												2011											
	I			II			III			IV			I			II			III			IV			I			II			III			IV			I			II			III			IV														
IV	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
1. 加强现场监测（定期监测、督导、报告体系等）																																																												
1-1. (有菌禽流感) 培养AIV监测人员																																																												
1-2. (有菌禽流感) 加强AIV监测																																																												
1-3. (肺炎) 培养为监测需要的肺炎流行病学和临床诊断人员																																																												
1-4. (肺炎) 改善现场监测																																																												
1-5. (有菌禽流感、肺炎) 协助开展强化免疫活动 (SIAS) 的评估																																																												
1-6. (乙脑) 培养为甲肝活动需要的人员																																																												
1-7. (乙脑) 建立在高风险地区进行甲类鉴别、分类和上报的体系																																																												
2. 加强脊髓灰质炎实验室网络，麻疹实验室的IgM诊断功能和乙型脑炎实验室																																																												
2-1. (有菌禽流感) 培养国家实验室和省级实验室的操作人员																																																												
2-2. (有菌禽流感) 参与WHO 卫生部脊髓灰质炎实验室中评工作																																																												
2-3. (肺炎) 培养从事AIV诊断人员																																																												
2-4. (肺炎) 加强AIV诊断实验室的高危能力																																																												
2-5. 肺炎提供给国家的支持																																																												
2-6. (乙脑) 国家实验室乙型脑炎的流行方目的的乙型脑炎流行省的支持																																																												
3. 建立与BPI有关的国内外相关机构合作协调体制																																																												
3-1. 每年举办或参与国际会议 (活动评审、信息交流、意见反馈) (15)																																																												
3-2. (有菌禽流感) 参加全国脊髓灰质炎实验室会议 (活动评审、信息交流、意见反馈)																																																												
3-3. 举办中日韩传染病信息交流会 (30)																																																												
3-4. 为了准确掌握疫情和人口, 与卫生委、妇联、团委、居(村)委会等国内相关部门和单位合作																																																												
3-5. 为了提高国际服务水平和, 与卫生委、妇联、团委、居(村)委会等国内相关部门和单位合作																																																												
3-6. 国内提高常规免疫接种率 (针对流动人口、边远地区等的接种率)																																																												

43

2011

附件3

06 IV 12	活动	2007												2008												2009												2010												2011											
		I				II				III				IV				I				II				III				IV				I				II				III				IV															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4. 完善预防接种服务																																																													
1. (甲类、乙类) 开展安全注射培训																																																													
1.2. (甲类、乙类) 开展疫苗冷链及冷链监测																																																													
1.3. (甲类、乙类) 开展疫苗冷链监测信息为目的(疫苗冷链监测、疫苗管理、接种率等)的培训																																																													
1.4. (甲类、乙类) 对居民志愿者进行有关接种方法、宣传方法的培训																																																													
1.5. (甲类、乙类) 预防接种服务的监测、指导及指导																																																													
1.6. (甲类、乙类) 完善基层冷链设备																																																													
1.7. (甲类、乙类) 在强化免疫活动中提供相关支持																																																													
1.8. (乙类) 为疫苗管理及时接种提供技术支持																																																													
5. 加强预防接种的宣传普及工作																																																													
5.1. 明确居民(母)民委员会预防接种工作中的分工																																																													
5.2. 制作宣传普及用多媒体材料(VCD等)																																																													
5.3. 与关键人物合作																																																													
5.4. 对居民志愿者进行培训																																																													
5.5. 在接种登记、人口登记、入学时开展预防接种的宣传教育																																																													



Handwritten signature

项目实施体制

